

豊橋医療センター外科外来においてマルチキナーゼ阻害薬による治療を受けられた 患者さまおよびそのご家族へ

当院では、「マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害の実態に関する調査」を行っています。この調査では、過去にマルチキナーゼ阻害薬による治療を受けた患者さまの診療録や看護記録をもとに皮膚障害に関するデータを収集します。そのデータの分析により、マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害の発現や重症化の実態を把握し、皮膚障害の予防と対処について多職種による支援体制の強化に活かしていくための調査です。

【調査の課題】

マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害の後方視的実態調査

【対象となる方】

2017年7月から2022年12月までの間に、豊橋医療センターの外来に通院された患者さまのなかで以下のマルチキナーゼ阻害薬による治療を受けた方です。既にお亡くなりになられた方も対象になります。

- ・レゴラフェニブ（商品名：スチバーガ）
- ・スニチニブ（商品名：スーテント）
- ・ソラフェニブ（商品名：ネクサバール）
- ・レンパチニブ（商品名：レンビマ）
- ・カボザンチニブ（商品名：カボメティクス）

【調査期間】

2023年2月2日～2023年9月30日まで

【目的】

マルチキナーゼ阻害薬の治療を受けた患者さまの皮膚障害の実態を把握すること

【調査の方法】

この調査は豊橋医療センター医学倫理審査委員会の承認を得て、豊橋医療センター病院長の承認を得て実施するものです。これまでの診療録、看護記録より、以下のデータを収集します。患者さまに新たにご負担いただくことはありません。

- 1) 属性
- 2) 看護問診内容
- 3) 皮膚科診療内容

- 4) 予防的ケアの実施状況と開始時期
- 5) マルチキナーゼ阻害薬の治療経過
- 6) 皮膚障害の発現状況、皮膚障害発現のきっかけとなった事象
- 7) セルフマネジメントの実施状況
- 8) 各職種の働きかけや介入内容
- 9) 経時的な患者の言動・反応

【個人情報保護に対する配慮】

診療録や看護記録から抽出するデータは、個人が特定されないように慎重に取り扱います。対象患者さまの識別は本調査専用割り振られた番号を使い、どなたのものか分からないようにした上で管理し、施錠下で保管されます。この調査のために、ご自分またはご家族のデータを使用してほしくないというご希望があれば、その方のデータは調査に利用しないようにしますので、2023年4月30日までに以下の連絡先までお申し出下さい。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

調査結果は、個人が特定できない形で、学会や専門誌等で発表されます。

収集したデータは厳重な管理のもと、調査終了後5年間保存されます。なお、調査データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。また、ご不明な点がある場合も、下記までお尋ね下さい。

2023年2月

【問い合わせ・照会先】

調査を行う機関：国立病院機構 豊橋医療センター

研究代表者：牧野佐知子

連絡先：〒440 - 8510 豊橋市飯村町字浜道上 50 ☎0533 - 62 - 0301